

# 平成 23 年度研究成果情報

課題名：サルボウによるノリ色落ち軽減効果の検証

## [背景・ねらい]

二枚貝類は、ノリの色落ちの原因となる珪藻赤潮の摂食やアンモニアの排泄など、ノリにとって有益な特性を有しているが、これらの特性とノリの色調変化との関連を把握した知見はほとんどない。そこで、色落ちノリした（以下、色落ちノリという）に対するサルボウの有効性について検証する。

## [成果]

- (1) 珪藻赤潮を含んだ海水（以下、赤潮海水という。）と色落ちノリを採取し、この赤潮海水（水量 4 L）に色落ちノリだけを入れた試験区と、色落ちノリとサルボウ 5 個体（平均殻長 30.6 mm）を入れた試験区を設置し、ノリの色調変化を色彩色差計で測定し（色落ちが進行するほど、数値が高くなる）、効果を検証した。
- (2) ノリの色調は、開始時の L 値 68.6 から 2 日後および 5 日後には、色落ちノリだけを入れた試験区では 69.4 から 70.9 へと増加したのに対し、サルボウを入れた試験区の色落ちノリは、62.5 から 56.7 へと低下し、ノリの色調が改善した（図 1）。

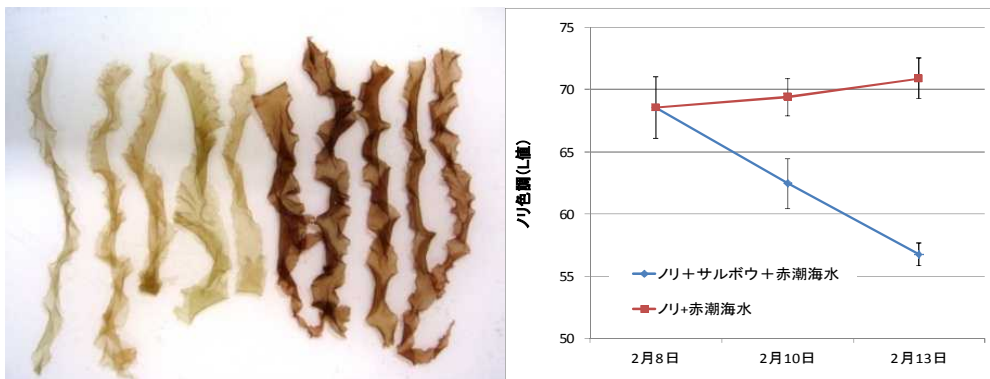


図 1 ノリの色調変化（写真：左 5 枚はサルボウ無、右 5 枚はサルボウ有）

## [課題・問題点]

- ・閉鎖系での試験では、サルボウによるノリ色落ち軽減効果は確認できるものの、開放系である漁場では、どの程度の効果があるのか不明である。

## [今後の対応]

- ・サルボウのノリ色落ち軽減効果と安定生産のための方策を漁業者に周知し、資源量の増大を図る。

## [その他]

研究期間：平成 21～23 年

研究担当者：普及担当 藤崎 博